

心疾患・心不全の診断には、

- 胸部X線
検査
- 心エコー図
検査
- 心電図
検査

血圧測定が必要です。

血液検査（生化学・CBC）にあわせて
心臓バイオマーカーを測定することで、
より異常を見つけやすくなります。

参考基準範囲上限を上回った 場合のアルゴリズム 心臓編

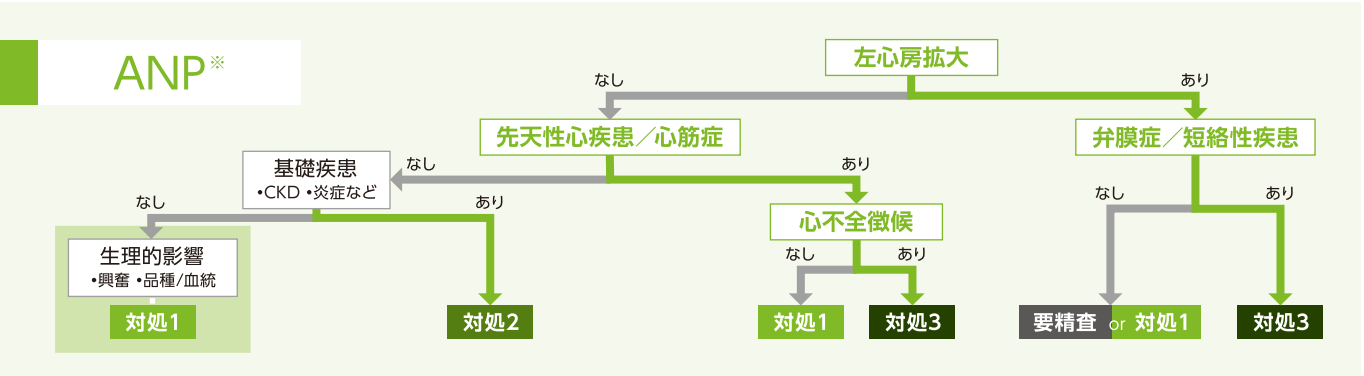
心臓バイオマーカーの活用

心臓バイオマーカーは興奮・緊張・基本疾患の影響により一過性の異常 高値を示すことがあるので、異常値が出た場合は精査を行ってください。

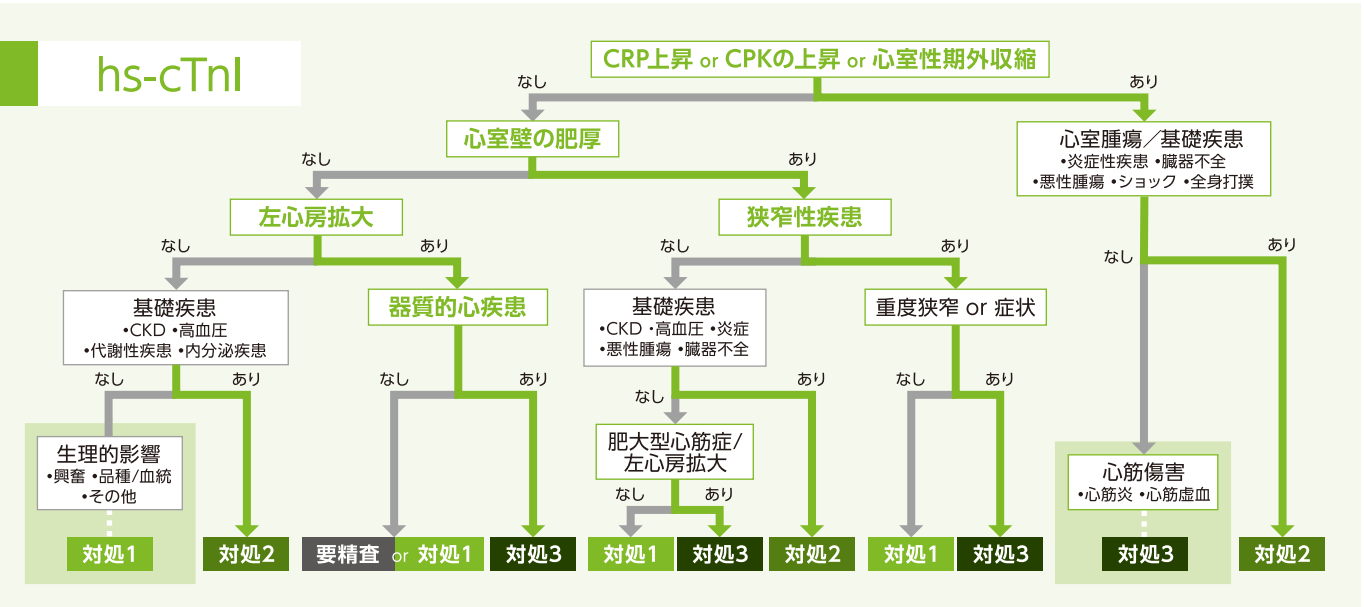
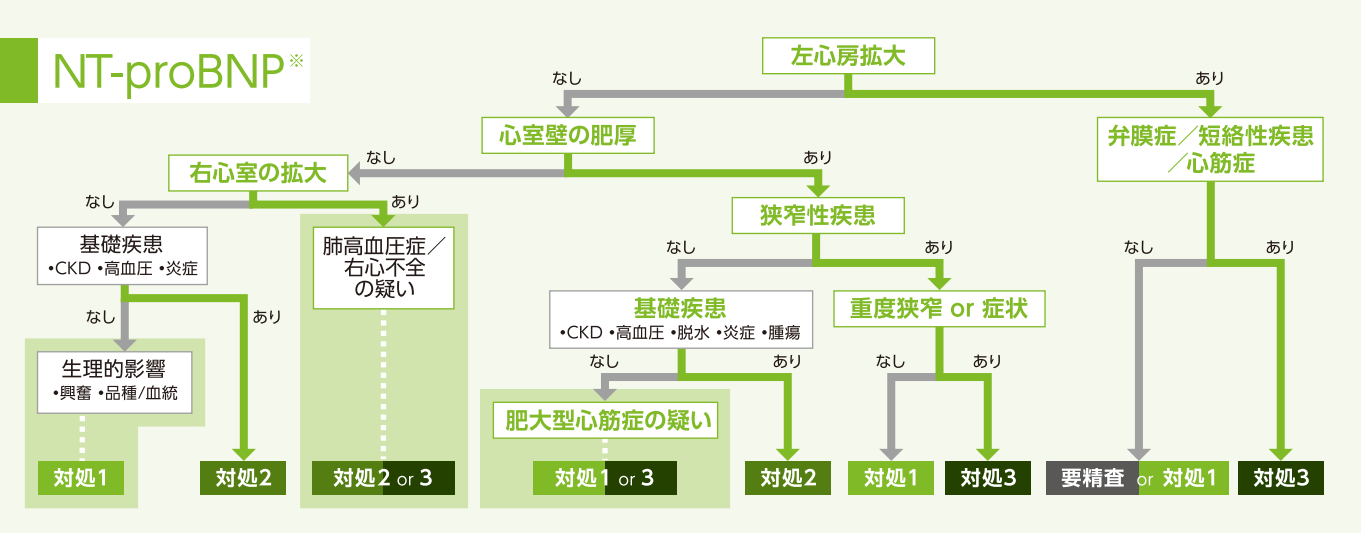
凡例	対処1	対処1	経過観察
	対処2	対処2	基礎疾患の治療
	対処3	対処3	心臓病治療の開始
	状態を確認しながら、 総合的に対処をご判断		

以下の手順で精密検査を実施

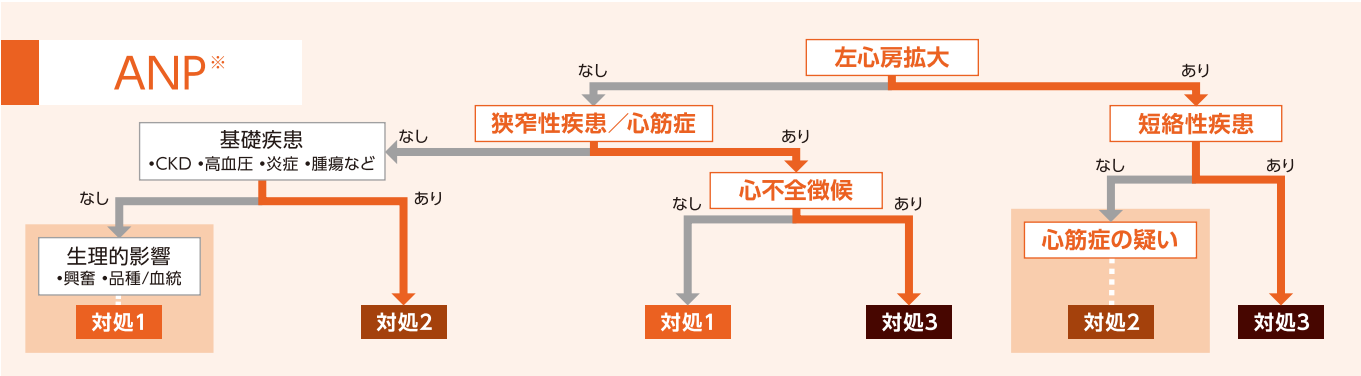
犬 用



※重度の上昇の場合にはうっ血性心不全のリスクがあります。



猫 用



※重度の上昇の場合にはうっ血性心不全のリスクがあります。

